



株式会社 山形新聞社

代表取締役社長 寒河江浩二



地域発展をリード
視野は世界へ

【本社】 〒990-8550 山形市旅籠町2丁目5番12号
山形メディアタワー

☎(023)622-5272

【設立】 明治9年9月1日 【資本金】 1億5,000万円

【年間売上高】 74億9,000万円 【決算期】 3月

【主要取引銀行】 山形銀行、荘内銀行、きらやか銀行

【社員】 217人

【支社】

〔県内総支社〕 庄内・最北・置賜

〔県内支社〕 酒田・鶴岡・新庄・尾花沢・村山・東根・
天童・寒河江・上山・米沢・長井・南陽

〔県外支社〕 東京・大阪・仙台

【業務内容および取扱商品】

日刊紙の発行および関連諸事業

【沿革・現況・特色】

山形新聞は1876年の創刊。140周年を迎えました。県民と運命を共にしながら、刻一刻と変わる山形の姿をタイムリーに伝え、世論をリードしてきました。

社屋の山形メディアタワーには、グループ社の山形放送に加え共同通信社も入居。まさに山形県の情報発信の拠点となっており、最新の編集システムにより、パソコン、モバイル端末も含めて毎日、新鮮なニュースを提供しています。

紙面もきれいです。制作センターで印刷されたカラー写真いっぱい新聞は、約80カ所の販売店から各家庭に配られ、最新のニュースを提供しています。2008年春には従来の1ページ15段制を12段制へと大変革し、文字を1割拡大して一層、読みやすい紙面となっています。さらに09年1月、地域版を大幅に拡充しました。「庄内」「内陸」「山形広域」「置賜」の4地域のページが連続しており、県内のニュースは、小さなイベントにいたるまで全て読んでいただけるようになりました。紙面品質の向上へ、12年秋のシステム更新で写真などをより鮮明に美しく表現できるよう改善を図りました。14年秋にはユニバーサルデザイン(UD)フォント(書体)を導入。「誰でも見やすい」というUDの考え方に基つき、横線を太くし濁点や半濁点も大きくするなど「はっきり・くっきり」した書体に改め、目に優しい工夫を凝らしています。

山形新聞社の基本理念は、地域社会への貢献、言論即実践です。企業利益の地域還元は、時代を先取りした取り組みとして業界から注目されてきたものです。自由な雰囲気、活発な議論を展開できるのびやかな企業が、山形新聞社の社風です。

【ホームページ】 <http://yamagata-np.jp/> 【E-mail】 info@yamagata-np.jp